

海員春闘・大衆討議特集②  
(増ページ版)

4面～7面 大衆討議関連

# 船員しんぶん

◆ホームページアドレス <http://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス [kaiin@jsu.or.jp](mailto:kaiin@jsu.or.jp)  
全日本海員組合発行第3014号(昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2023年(令和5年)  
2月15日  
本紙は毎月5・15・25日発行

〒104-0053 東京都中央区  
晴海4丁目7番28号  
ホテルマリナーズコート東京内  
全日本海員組合本部  
発行人 齋藤 洋  
TEL 03-5410-8329  
FAX 03-5410-8337  
定価1部50円  
(組合員の購読料は組合費に含む)

3月1日に  
闘争本部  
立ち上げ

## 守るぞ生活と雇用 団結で臨む海員春闘

現場の声を  
要求に!



かぶしま



パシフィックファルコン



鈴江コーポレーション



日本海曳船

令和5年度の労働協約改定要求案の大衆討議期間は1月6日に始まり2月16日まで。全国各支部の執行部と職場委員が、全国の港で訪船活動や集会のほか、リモート中継やメール、電話・FAXなどを活用し、外航・水産・国内の各部門別に中央要求案や、中央要求に準じた内容の個別要求案に基づき、現場組合員の意見集約を行ってきた。これら現場組合員の声を今春闘の要求に反映させ、3月1日から、生活と雇用を守るための海員春闘が始まる。

# 2月末日、全国一斉に要求書を提出

全国各地で大衆討議  
訪船・集会で意見集約  
海員春闘に  
期待する  
現場組合員の声

現場の声をピックアップ

パシフィックファルコン  
日本海曳船株式会社のタグボート／東日本タグボート株式会社のタグボート／鈴江コーポレーション株式会社／シーパセオ・シーパセオ2／うみてらし／しわく丸／ニューかめりあ  
▽陸上の賃金改定を追い風に、ベースアップお願いします。  
▽中央要求指針に異論ない。物価が高騰する状況下、ベースアップを求めたい。  
▽待機時間の手当新設を願う。  
▽物価上昇に伴い基本給の改定は必要。  
▽定年年齢の引き上げが必要ではないか。  
▽タグボート手当の増額を願う。  
▽役職者の手当改善。  
▽乗下船旅費については、距離制限関係なく乗下船旅費を要求してほしい。  
▽企業年金制度の魅力を高めるためにも掛金の増額は必要である。  
▽基本給のベースアップ主旨も理解するが、会社の状況が厳しいので無理のないように交渉を進めていただきたい。  
▽今後も、少しずつでも労働環境の改善に期待する。



ニューかめりあ



しわく丸



シーパセオ



うみてらし

闘争本部の設置について  
①3月1日付をもって設置。  
②闘争本部長は組合長とする。  
③闘争本部事務局長は、竹岡優樹総務部副部長補とする。  
④闘争本部事務局の構成は、事務局長に一任する。  
⑤協約闘争にかかる公式報道責任者は、齋藤洋中央執行委員長とする。  
⑥地区闘争委員会は3月1日付をもって設置する。  
⑦争議金庫の開放について  
闘争本部設置日をもって開放する。

# 八戸市長に申し入れ 文書を手交・船員職業の 特殊性を説明

全国発信記事

八戸支部  
= 発信



※撮影のためソーシャルディスタンスに配慮の上、マスクをはずしています

左から熊谷雄一八戸市長、甲斐忠行八戸支部長、高谷綾子全国海友婦人会八戸支部長

八戸支部は1月16日、八戸市の熊谷雄一市長に、第83回定期全国大会で決定した活動方針に基づく申し入れを行った。

申し入れは、甲斐忠行八戸支部長と高谷綾子全国海友婦人会八戸支部長が、熊谷八戸市長に文書を手交し、①船員における住民税減免について②海に親しむ活動の推進について③海洋プラスチックごみへの対応などについて、丁寧に説明、要請した。

熊谷八戸市長は、▽住民税減免について特定の業種のみを優遇することは公平性の観点から難しいが、外航船および遠洋漁業の重要性は理解しているため、長期間にわたり海上といるため、他地区の状況と踏まえ検討したい▽海に親しむ活動の推進について八戸市には海洋少年団があり、将来を担う子どもたちに対し海に親しむ活動を継続している。海員組合と共同で活動できるものがあるのかを含め検討したい▽海洋プラスチックごみへの対応について海の豊かさや環境を守る活動につながるため、関連事業者と協力しながら応援する取り組みを進めたいとの見解を示された。

意見交換の中で、船員職業の重要性を深く理解していただき、船員税制などの諸政策を実現していただくため、働きかけていく。

## 船員の町・八戸の港を 海運と漁業で活気づけるため

全国発信記事

気仙沼支部  
= 発信

# 第83回定期全国大会 決定事項に基づく申し入れ

気仙沼市・菅原茂市長へ

1月18日、気仙沼市の菅原茂市長に、船員の住民税減免の実施、海に親しむ活動の推進、海洋プラスチックごみへの対応について要請した。



左から菅原茂気仙沼市長、高橋雅幸東北地方支部長兼気仙沼支部長

# 福島県・いわき市へ申し入れ 船員の政策課題 について

全国発信記事

小名浜支部  
= 発信



左から大友康夫いわき市議会議員、奈良章小名浜支部長、渡邊伸一郎農林水産部長(いわき市)

## 福島県唯一の国際貿易港 小名浜港に船員の元気を取り戻すため

小名浜支部は2月7日、大友康夫いわき市議会議員に同行していただき、いわき市に第83回定期全国大会決定事項の申し入れを行った。

申し入れでは、最初に奈良章小名浜支部長から、いわき市の渡邊伸一郎農林水産部長に申し入れ文書を手交し、申し入れ内容を丁寧に説明した。

申し入れ内容に対し、渡邊いわき市農林水産部長からは、「貴組合からの申し入れについて重く受け止めている。いわき市としても口より

から海の恩恵に対し重要性を認識している。具体的な説明は各担当課長から説明をさせていただきます」と述べた上で、▽船員における住民税減免について、酒寄正大財政部市民税課長から税の公平性がら特定職種を優遇することは難しいが、他の自治体の動向を注視しながら検討したい▽海に親しむ活動については、新妻敬水産課長、七海満産業振興部工業・港湾課長から、水産業界の後継者不足問題は認識している。高校生・一般向けの漁業体験を就業につな

### 第39期全国委員の当選告示

2023年2月15日  
中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

1、2023年2月5日付で告示した第39期全国委員補充選挙については、立候補の受け付けを締め切り、立候補者の資格審査を行い、候補者が適格であることを確認した。

対立候補者がいない立候補状況であることから、全国委員選挙規則第25条D項により投票を略し、当選人を次の通りとする。

《地方区・地方単位》

01 北海道 (補充定員1名・立候補者1名)  
当選人 若杉 健太  
北海道地方支部 在籍専従執行部員

《企業区・企業単位》

009 昭和日タンマリタイム (補充定員1名・立候補者1名)  
当選人 加藤 典嗣 昭和日タンマリタイム 一機士

以上

# 第83回定期全国大会 決定事項に基づく 申し入れ活動

全国発信記事

大阪支部  
= 発信



※撮影のためソーシャルディスタンスに配慮の上、マスクをはずしています

左から、森健輔職場委員・増田純船長・佐藤宗昭大阪支部長・岩佐弘明議長・畑中智尋職場委員



※撮影のためソーシャルディスタンスに配慮の上、マスクをはずしています

左から、増田純船長・畑中智尋職場委員・三日月大造知事・佐藤宗昭大阪支部長・森健輔職場委員

【高原迅斗通信員】大阪支部は、1月30日に滋賀県・滋賀県議会に対しそれぞれ申し入れを行った。なお、申し入れには森健輔職場委員(新日本海フェリー(株))、畑中智尋職場委員(琵琶湖汽船(株))、増田純船長(琵琶湖汽船(株))が同行のも行い、滋賀県では三日月大造県知事に、滋賀県議会では岩佐弘明県議会議長にご対応頂いた。

佐藤宗昭大阪支部長より、活動方針書に基づき、本組合の活動等について説明し、▽船員確保に向けた海事思想教育の普及について▽日本人船員の重要性と船員税の早期実現について▽湖上における海難事故撲滅について、強く要望し、各自自治体対応からは次の見解が示された。

【滋賀県議会】船員税制について、趣旨は理解するが、船員への理解を示している自治体は少なく、また近年基礎自治体の権力が弱くなっていることから、県判断では難しいと考える。海事思想教育の普及について、「うみのこ」を利用した湖上学習などを通じて継続的に発信していきたい。

【坂上桐乙通信員】大阪支部は、12月15日に泉大津市・泉大津市議会、12月26日に白浜町・白浜町議会に対しそれぞれ申し入れを行った。12月15日の泉大津市および泉大津市議会には、森健輔委員(新日本海フェリー(株))が同行のもと実施した。

フェリーが災害時のライフラインとなり重要な役割を担っていることは十分に理解しており、長距離フェリーの利用促進を図るため、1,000万円の予算及び600万円の追加予算を計上し、泉大津港からの乗船限定で3,000円相当の泉大津市特産品と旅行代金2,000円割引の助成を行っている。港湾施設については、大阪府が管理しているため直接的に減免の判断をすることはできないが、大阪府と連携の下、バ

【泉大津市議会】フェリーは新型コロナウイルス感染症や世界情勢による物価上昇・燃料油価格高騰の影響を大きく受けていることは認識している。市民にとつ

【白浜町】島国である日本にとって船員は必要不可欠であるが、子どもたちの海離れは深刻な問題である。例年開催している小学生を対象とした体験乗船や出前講座については、保護者等も交えた開催を視野に入れ、引き続き開催願いたい。

【白浜町議会】船員税制について趣旨は理解できるため、議会内で共有し、町長とも連携し判断したい。

我が国にとって船舶は交通、生活物資輸送に重要な手段であり物流の根幹であると認識している。滋賀県では小学校5年生における必須科目として、県所有船「うみのこ」を利用した湖上学習を1983年から継続しているなかで、琵琶湖汽船(株)の組合員の皆様には安全運航にご協力いただいていることには大変感謝している。この「うみのこ」の活動を通じて船員を目指す子どもも、今後も「うみのこ」を中心とした様々な方法で海事思想の普及活動に努めていきたい。

【泉大津市】保に向けた海事思想教育の普及について▽日本人船員の重要性と船員税の早期実現について強く要望し、各自自治体対応からは次の見解が示された。

【泉大津市議会】船員税制について趣旨は理解したが、船員の教育訓練施設がないため連携して取り組める環境にない。また、他業種にも対象者が多く存在しているため、平等性の観点からも現時点での実施は難しいと考

【白浜町】漁業に従事している船舶等に対し給付金などの施策は講じているため、民間事業者への支援についても検討していかなくてはならないと考える。

【白浜町議会】船員税制については、対象者数や詳細について把握できていないため、現時点での判断は難しいが、要望趣旨は十分に理解できるため、今後検討していきたい。

【白浜町議会】船員税制について趣旨は理解できるため、議会内で共有し、町長とも連携し判断したい。

日本の海上流通と経済を支える船員の確保・育成は急務

かえで



物価高騰で家計の購買力低下  
ベースアップに  
期待、応援します

大衆討議

道南支部  
= 発信

はやぶさ



**現場組合員の主な意見**  
函館ポートサービス＝  
ともえ・かえで・いちご・やぐり

▽新型コロナウイルス感染症の発生以来、入港隻数の減少により作業量も減少し、月例給与も目減りしている。今年度交渉はベースアップに期待する。

▽ちまたでは大幅に給与水準が上がるような報道もあるが、海員に対しても期待したい。

▽諸手当の改善も必要であるが、今年度はベースアップを優先してやってほしい。

▽生活もある程度少くとも基本給を上げてもらえたらうれしい、期待している。

▽物価高騰で生活が圧迫されているのでベースアップをはじめ、諸手当の改善をお願いしたい。

▽その他の意見  
①作業量が減少しており、基本給割れするような給与の月

もある。仕事量については地方港湾の宿命と思うが、出来高払いの時間外手当等は最低の固定制度化等もお願いしたい。

**共栄運輸＝**  
はやぶさ号はやぶさ

▽若者にも魅力ある職場にしていくために、今年は大規模な基本給の底上げに期待する。

▽物価が上がっているのに、給与改善していただかないと生活に不安がある。

▽ベースアップとれるよう応援しています。

▽ベースアップを勝ち取ってほしい。交渉頑張ってください。

▽生活のためにも基本給の改善を進めてほしい。

**昭和日タンマリタイム**

▽物価高騰が激しく生活が苦しいので、ベースアップをお願いしたい。

▽ベースアップの額は例年以上の大きな額に期待したい。

▽組合のベースアップのみの要求に賛同したい。大幅な賃金改定を期待する。

▽諸手当改善をお願いしたい。

▽その他の意見  
①昨年度より仮ベースの回数が極端に減っており、仮ベースを増やしてほしい。

②健康診断を受ける医療機関が減っているため、海員組合から関係機関に働きかけてほしい。

**ハートランドフェリー**

▽乗組員も生活があるので給与が上がるように頑張ってもらいたい。応援している。

▽若い世代に選択してもらえない職場にするためにもベースアップを勝ち取ってほしい。

それいゆ



船員の魅力=長期休暇と賃金  
ベースアップで  
魅力の復活を

大衆討議

大阪支部  
= 発信

白浜海底観光船



**現場組合員の主な意見**  
白浜海底観光船

▽新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、回復してきている現状を考慮し、基本給の改善に重きを置いた要求としてほしい。

▽在籍者や今後入ってくる人達が希望を持てる労働条件にしてほしい。

▽その他、組合要求通りで問題ない。

**新日本海フェリー**

▽物価上昇に伴い、生活水準を維持するためにベースアップを頑張ってもらいたい。

▽労働時間の適正化・働き方改革は理解するが、船機長の時間外に対する扱いはどうなるのか。また、機関長には労働時間の適用を受ける者・受けられない者が存在しており、統一すべきである。

▽需要と供給のバランスからすると大幅な賃金アップは必

須である。組合ならびに会社も船員不足が喫緊の課題としているが、これまで大幅な賃金アップなど労働条件の改善につながっていないと感じており、早急に大幅な改善をしてほしい。

▽コロナウイルス感染症など、国の指定感染症に対する扱いについて協約書に明記しないのか。

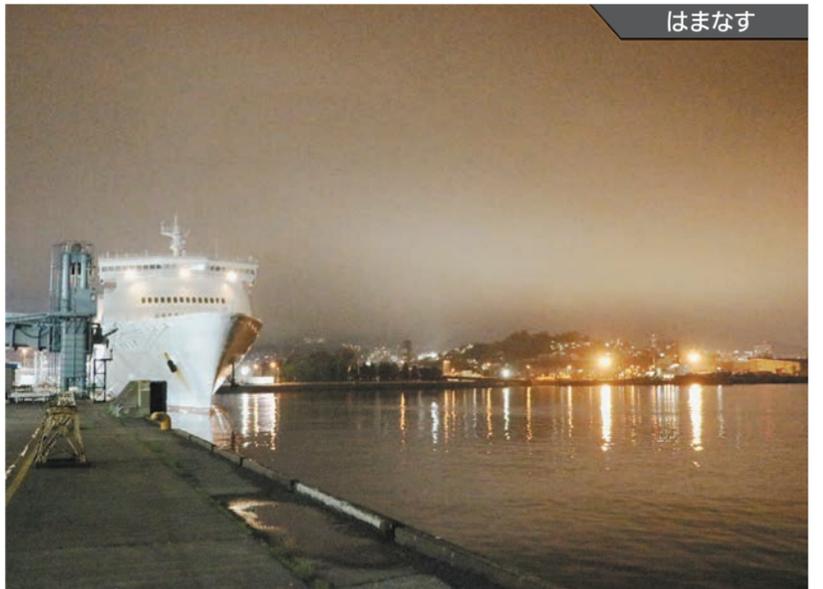
▽物価上昇に負けないベースアップをぜひとも頑張ってもらいたい。

▽定年延長については、継続協議となつて約3年が経過するが、進捗状況が見えず、早急に改善してほしい。

▽辞令職船長や機関長、職長を運用すべきである。職長については、過去の採用方法により、職長になることができず、魅力がなくなっている。

▽辞令職については、協約に記載されているが、運用して

はまなす



いない会社については定年延長の協議と並行して協議すべきである。

▽物価上昇に伴うベースアップの要求という説明であったが、物価上昇に合わせた要求とするならば、10%・20%の要求をすべきである。

▽船員の魅力は長期休暇や賃金であり、要員不足や陸上との賃金格差が縮まり、魅力が失われている。組合も認識していると思うが、会社との交渉で結果が出るため、ぜひとも頑張ってもらいたい。

▽機関部の手当や機関長の手当が少ないため、機関部の要員状況が回復しない。また、次年度の要求では「船長水先慰労金」などの要求はないが、一部の人間のみ改善される要求を行うことに疑問がある。

boh boh KOBE



早令丸



# 可処分所得が目減り 物価高騰に負けないベースアップ 頑張してほしい

大衆討議

関西  
地方支部  
= 発信

あおい



## 現場組合員の主な意見

- ▽外航部門は八馬汽船や乾汽船の陸上集会を行った。
- ▽組合要求(案)については理解した。ベアの改定を頑張してほしい。物価が上昇しているので3%以上の要求をしてほしい。
- ▽在宅勤務手当の新設。
- ▽社宅規定の見直しについて。
- ▽海上籍陸上勤務員の働き方について。
- ▽二航機士手当の新設に感謝している。
- ▽国内部門(沿海部門)
  - ▽ジャンボフェリーや早駒運輸、加藤汽船、淡路ルートサービス(陸上集会)。
  - ▽組合要求(案)については理解した。
  - ▽物価の上昇により可処分所得が目減りしているためベアを頑張してほしい。
  - ▽物価が高騰しているためベアを頑張してほしい。
  - ▽乗下船旅費の上限撤廃を要求してほしい。
  - ▽県外の船員が会社指示により港の近くに引越しているため、家賃補助を要求してほしい。
  - ▽海中転落により本船の船員が死亡した事故があったので、足元の見えない岸壁に街灯を設置するような申し入れを行っていることに感謝している。
  - ▽物価上昇に対応するため大幅なベアと年間臨時手当支給率引き上げを頑張ってもらいたい。また、退職金規定の充実を望む。
  - ▽物価上昇や燃料費の高騰があり、ベアを頑張ってもらいたい。要求内容については、特に異論ない。
- ▽病院への通勤船として運航しているが契約が心配。
- ▽国内部門(港湾部門)
  - ▽日東タク、早駒運輸、新丸菱海運、日本栄船、姫路ポートサービスなど。
  - ▽組合要求(案)については理解した。
  - ▽物価が高騰し、可処分所得が目減りしているためベアを頑張してほしい。
  - ▽料金の改定に向け頑張してほしい。
  - ▽組合要求(ベースアップ)趣旨および諸手当改善については理解した。物価が上昇しているため少しでも食料金を上げてほしい。
  - ▽ベアを頑張してほしい。
- ▽アの改定を頑張してほしい。
- ▽後継者確保についても頑張してほしい。
- ▽ベアを頑張してほしい。
- ▽賃率分母の変更は要求できないのか。

# 今後の担い手確保のため インパクトある 賃金改善が必要

大衆討議

尾道支部  
= 発信

おりんぴあどりーむ



## 現場組合員の主な意見

- ▽港湾部門では、福山ポートサービスのタグボート部門と警戒艇部門の各船の意見を船内委員長が取りまとめ、尾道支部で意見交換を実施した。
- ▽光熱費、原料費、食費、すべての価格が上がっている中で、労働者の給料だけがかわらないというのではいけないと思う。ベースアップ、諸手当改善をはじめとした組合要求案に異論はない。昨今の物価上昇に負けないような水準での労働条件改善に向けて頑張ってもらいたい。
- ▽特に食費(食材、加工食品)は大きくかさんでおり、食料金の改定要求もお願いしたい。
- ▽船長・機関長といった責任ある職務への対価や若い船員が将来役職を目指す魅力付けの観点から職務手当の改善が必要であると思う。
- ▽燃料価格高騰を会社側は訴えてくると思うが、同様に労働者も食料などの価格が上昇しており、今後も値上がりは予定されている物もある。生活を維持するためにも、ベースアップや食料金の改善が必要であると思う。
- ▽行動制限のあった2021年と比べると、2022年は夏以降、ようやく新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあると感じているものの、燃料をはじめ急激な物価高が続いており、会社状況は決してよくないと思う。しかし、食料など生活に関係するものも高騰しており、物価高に対応すべく、ベースアップをはじめとした賃金改善をお願いしたい。
- ▽特に食料は目に見えて高くなっていると感じており、食料金改定についてもぜひお願いしたい。
- ▽大手陸上会社を中心に賃金改善の動きを見せているとの新聞報道もあり、今後の担い手確保のためにもインパクトのある賃金改善が必要だと思う。
- ▽旅客船各社はコロナ禍により経営状況はよくないと思うが、インフレとなっている中で生活を維持するためにも賃金改善が必要であることを訴えてほしい。

第三おおみしま



必要であると思う。  
▽要求作成については執行部に一任する。

## 沿海部門

▽沿海部門は、土生商船、大三島フェリー、三光汽船、国際面備フェリー、瀬戸内観光汽船、三洋汽船などの意見集約を行った。

物価高 電気・ガス代の高騰

# 賃上げは絶対不可欠

大衆討議

中・四国地方支部 = 発信



中・四国地方支部が担当する国内部門(内航・旅客船)は、日物マリンや双葉汽船の内航海運業をはじめ、瀬戸内海汽船、山陽商船など、瀬戸内海の島々を結ぶ生活航路の多くの旅客船があり、大衆討議においても、この物価高から生活を守るための賃金アップを望む声が多く寄せられた。

**現場組合員の主な意見**

- ▽食料金の要求については、アップするよう組合に頑張っていたきたい。
- ▽職別基本給については、物価が高騰しているため、昨年度以上のアップが必要である。
- ▽基本給のベースアップ主旨も理解するが、会社の状況が厳しいので無理のないように交渉を進めて頂きたい。
- ▽家族手当について、陸上職と比較しても当社は支給額が低いので要求は必要である。
- ▽食料金については、物価が高騰しているため、食料金の増額を求める。
- ▽年金受給開始年齢が段階的に引きあがっているため、退職年齢を伸ばす要求には賛同する。
- ▽要求通りのペアを求める。
- ▽乗船期間について、労働協約書では3カ月乗船が基本である旨の記載であるが、若手船員等の離職を防ぎ、長く働いてもらうためにも乗船期間短縮の見直しの要求を出していただきたい。
- ▽中・四国旅客船集団第2欄への加盟が目標ではあるが、まずは集団との基本給の差を縮められるよう大幅なベースアップを望む。
- ▽昨年は経験加給の増額していただき感謝しているが、ま

だ集団と差があるため、今年度も経験加給の増額を求める。

- ▽家族手当については、組合の産別水準への整合が望ましいが、まずは集団と同額まで引き上げてほしい。
- ▽今般の物価高を鑑みても、賃上げは絶対に行わなければならない。
- ▽物価高、電気・ガス代の高騰を踏まえると賃上げは絶対に行わなければならない。粘り強く会社と交渉を行ってほしい。
- ▽若い船員に長く働き続けてもらうためにも労働諸条件の改善を望む。
- ▽物価が上昇している状況を考えれば、ベースアップや食料金アップの要求は必要である。粘り強い交渉で頑張ってもらいたい。

陸上産業の賃金アップに負けない

# 船員の賃金アップを!

大衆討議

高松支部 = 発信



しわく丸

しわく丸

高松支部で担当する国内部門の船は、内航船が浜野海運IIはるかぜ、沿海部門のフェリー・旅客船は、本島汽船IIほんじま丸、備讃フェリーIIしわく丸、瀬戸内市緑の村公社IIまえじま丸などを訪船、今次春闘要求についての意見集約を行った。

**現場組合員の主な意見**

- ▽物価高騰が顕著であり、陸上産業では大きな賃金改定も報道などで見ている。今年度改定についても、賃金(ペア)を主軸に改定を願う。
- ▽当社においても船員不足が顕在化している、若年層の呼び込みには、陸上産業との差別化が必要であり、初任額を陸上産業より高めに検討するべきではないか。
- ▽職務給において、若手に魅力ある賃金カーブなども検討願いたい。

高松支部で担当する国内部門の船は、内航船が浜野海運IIはるかぜ、沿海部門のフェリー・旅客船は、本島汽船IIほんじま丸、備讃フェリーIIしわく丸、瀬戸内市緑の村公社IIまえじま丸などを訪船、今次春闘要求についての意見集約を行った。

- ▽当社は、乗組員の平均年齢は若く、退職者も少ないが、同業他社では要員確保に苦慮している状況は聞いている。若手に魅力ある改定を願う。
- ▽報道などで、陸上産業の大きな賃金アップが言われている、船員も負けずに頑張っていたきたい。
- ▽当社は離島補助航路であり、一般的な旅客船水準を維持する事が前提と捉えており、同業他社に遜色ない改定はお願いしたい。
- ▽昔にくらべ、待機時間が多く、時間外手当などが減少を続けている。賃金に重点をおいた改定を願う。
- ▽物価上昇の中、基本給の改定は必要と考えており、無理な数字は求めないが、要求はすべき。同業他社を参考に要求をお願いする。

▽その他として、①機関紙について、要求案など考え方が若手にはわかりづらい事もある。機会があれば、若年船員にもわかりやすい内容(解説版など)も検討していただきたい。

▽組合の奨学金制度について、各学校の説明の在り方も違つと思うが、海技短大在学中、一般の生徒に知られていないので、更なる拡充と、宣伝を行った方がよいのではないかと。物価が上がっている事も踏まえ、賃金(ペア)をメインに交渉する事に賛同する。

▽食料について、今後も上がる事が予測されており、年度の途中であっても、食料補金などの名目で、一時的な対応もお願いしたい。

まえじま丸

まえじま丸



きずな



# 物価の高騰が食料金を直撃 食事内容の現状を維持するため 食料金アップは必須

大衆討議

九州関門  
地方支部  
= 発信



ダイヤモンドいき

九州関門地方支部での今迄春闘要求に対する現場組合員の意見集約では、関門タグ4社をはじめ、宮崎産業海運、三和商船、阪九フェリー、九州郵船など、国内部門の沿海・内航・港湾の現場の切実な意見を精力的に集約・整理した。

### 現場組合員の主な意見

▽要求案のように、ベースアップと食料金増額を強く会社に求め、魅力ある職場として、後継者確保につながるよう交渉を頑張ってもらいたい。

▽タグの仕事は、基本毎日家に帰れるが、休日や夜中でも呼び出されることがあり、給料が良くないと後継者が確保できなくなるのではないかと、ハーバータグ手当や家族手当も要求してもらいたい。

▽食料金に関して、しっかりとアップを勝ち取ってほしい。

▽当社のような外地に出動する船は、少ない食料金の中で、若手が食料の買い出しをしているが、やりくりに悩まされている事情があり、若手の労務負担になりつつある。

▽ベアは時間をかけて交渉し、上がるように頑張っている。

▽定年に関する要求は出さないうか。

▽今年の交渉は、コロナ禍前のように傍聴できるのか。

▽労働協約の子に対する家族手当について、23歳未満が対象となっているが、大学院に行った場合は23歳を超えても対象となるような要求をお願いしたい。

▽物価高による夜食費の増額を要求してほしい。現行では足りない。物価高に対し、CFの食料金も上がっているため、個別で決めているJF食料金の改善をお願いしたい。注文している弁当屋でも値上げされている。

▽陸上においても最低賃金の引き上げが実施されており、ニュース等でも大手産業の賃上げの話が出ているため、船員の賃金も引き上げていく必要がある。

▽後継者確保のためにも賃上げが必要であり、要求案通りのベアが勝ち取れるよう頑張りたい。

▽年間臨時手当に対する意見として、物価高を踏まえ昨年を上回る支給率となるよう交渉してほしい。また、コロナ禍のなかでも全員が感染に十分配慮したうえで、欠航しないよう協力して運航してきたことを評価してほしい。

▽現場組合員の主な意見



第二天長丸



海門丸



▽ベアアップを頑張っている。期待している。

▽職務手当もベアと同じぐらいアップ要求してもいいのではないかと。

▽家族手当の改定は要求できないのか。

▽食料金の改定をお願いしたい。

▽船内荷役手当を改善してほしい。

▽職長の職務給を経験年数で加算していく制度にできないのか。

▽定年年齢の引き上げを要求すべき。定年年齢の引き上げはどのような議論があるのか。

▽55歳以上の標令給を制度構築してほしい。

# 労働力不足からの 雇用延長 定年引き上げの見直しも必要

大衆討議

沖縄支部  
= 発信

だいとう



沖縄支部は、1月6日からの大衆討議期間中に、港湾船や離島間を結ぶ内航船・貨客船などの意見集約を行った。

現場組合員の主な意見

ベアアップを頑張っている。期待している。

職務手当もベアと同じぐらいアップ要求してもいいのではないかと。

家族手当の改定は要求できないのか。

食料金の改定をお願いしたい。

船内荷役手当を改善してほしい。

職長の職務給を経験年数で加算していく制度にできないのか。

定年年齢の引き上げを要求すべき。定年年齢の引き上げはどのような議論があるのか。

55歳以上の標令給を制度構築してほしい。



仙波東照宮

**日本三大東照宮 仙波東照宮**  
 その昔、江戸と川越を結ぶ舟運が栄え、喜多方・倉敷とともに、日本三大蔵の街として発展し、小江戸と呼ばれた城下町の川越。JR川越駅で下車し、仙波氷川神社から長徳寺まで、新河岸川に沿って歩くと、悠々と泳ぐ野鯉の姿を見ることが出来ます。

川越城までの途中に、仙波東照宮と隣り合う国指定重要文化財の喜多院があります。この仙波東照宮は、日光東照宮と久能山東照宮に並ぶ日本三大東照宮の1つです。日光と久能山に比べ、川越の東照宮の規模は小さいのですが、1617年3月、徳川家康の遺骸が久能山から日光へ移送される途中、喜多院に4日間安置して、天海僧正が法要を営み、これに因み1633年に東照宮が建設さ

れ、国の重要文化財に指定されています。

**舟運の発達した城下町**  
 新河岸川舟運は江戸時代初期から約300年の歴史があり、当初は年貢米の輸送が中心で、時代が進むにつれ人や物資が行き交うようになったそうです。幕末から明治にかけての全盛期は、川越五河岸と呼ばれる地域に船問屋と商家が軒を並べ大変にぎわい、江戸文化を深く根付かせる役目を果たしたようです。しかし、昭和になると鉄道が開通し、洪水防止の河川改修も行われ、舟運はその役割を終えることになりました。

**三芳野神社と時の鐘**  
 わらべ歌「とりやんせ」の発祥の地として知られる三芳野神社。川越市指定の史跡であり、川越城の敷地内に建てられていたことから「お城の天神様」と呼ばれ、時間を区切つての参拝が認められたそうです。

ただし、一般の参拝客にまざって密偵が城内に入り込むのを防ぐため、帰りの参拝客は厳しく調べられ、これが「行きはよいよい、帰りは怖い」と唄われ、現代の子どもたちにも、わらべ歌として歌われつづけています。

川越の中心地には、シンボル「時の鐘」があり、江戸時代初期に建設されたものが何度か焼失し、現在の「時の鐘」は明治26年の川越天火の翌年に再建されたものです。毎日4回の時を知らせており、時間が止まってしまったような街並みと鐘の音色に、昔の雰囲気を感じることが出来ます。

# カタフリ ブイクタイム

小江戸・川越と山吹の里



時の鐘

**小江戸の由来**  
 その昔、「世に小京都是数あれど、小江戸は川越ばかりなり」と唄われていた川越は、板本市や旧佐原市(現香取市)とともに、三大小江戸と呼ばれ、江戸から近く、1457年に江戸城が太田道灌により築城され、同じ年に川越城も太田道真・道灌父子により築かれたといわれています。

江戸城と川越城が、同一時期に同一人物により築城されたことに不思議な縁を感じますが、その後、江戸時代には経済・文化の結びつきも強まり、江戸が「大江戸」と呼ばれたのに対し、川越は「小江戸」と呼ばれ、全国最初の「小江戸」の城下町として発展しました。



多宝塔

それは「後拾遺和歌集」に収められている兼明親王の歌「七重八重花は咲けども山吹の美のひとつだに無きぞ悲しき」にならって「美の」と「養」を掛けたもので、家が貧しくて養ひとつらなことを、美のならない山吹の花にたとえて奥ゆかしく答えたのでしようと家臣に教えられ、自分の無学を恥じたとのこと。以来、道灌は和歌の道にも励み、文武両道を兼ね備えた名将といわれるようになりました。

この伝説の、道灌に山吹の花を捧げた少女は紅血といひ、道灌に城に招かれて歌の友となり、道灌亡き後はこの地に庵を建てて尼になったと伝えられています。



三芳野神社



喜多院慈恵堂

**太田道灌と山吹の里**  
 関東3大梅林に数えられる越生梅林は、川越から電車で1時間ほど。東武越生線・越生駅で下車し、路線バスで15分ほど、梅林入口に到着できます。越生梅林の起源は1400年頃、九州大宰府から菅原道真公の霊を分祀した時に、梅園神社に植えられたのが始まりと云われます。

越生駅の近くに「山吹の里歴史公園」があり、訪ねることになりました。越生には「山吹伝説」というものがあり、室町時代の武将「太田道灌」が鷹狩りに出かけた時に、急に雨が降ってきたので養を借りようと近くの家に立ち寄り、ひとりの少女が出てきて、一輪の山吹の花を黙って差し出したので、その意味がわからない道灌は、腹を立てて城に帰り、家臣に話したそうです。



山吹の里歴史公園



名勝・越生梅林